

松沢地区

生きもの調査

結果報告

2008. 8. 23

松沢地区において、昨年度に引き続き「田んぼの生きもの調査」を行いました。この調査は全国の生きものの生息状況を把握するために平成13年度から全国で実施されている調査です。

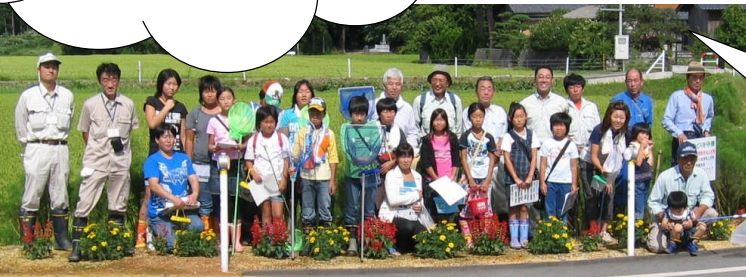
農業用水路や田んぼなどは、農業生産の場であると同時に多くの生きもの達の生息場所でもあります。田んぼまわりにみられる豊かな生態系は、田んぼで米づくりが営まれることによって成り立っており、農業・農村が守られるべき大切な機能として注目されています。

松沢の生態系は、果たして守られていたのでしょうか？この度の調査結果を報告します。

日本は戦争が終わった後、国じゅうで食べ物が少なくなってしまったので、一生けんめい田んぼをつくりました。また農家の人が仕事をしやすく、お米などの作物がたくさんとれるように田んぼを広くしたり水路をつくりました。そして日本は豊かな国になりました。

でも気がついてみると、田んぼのまわりにメダカやカエルなどの生きものがすいぶん少なくなってしまいました・・・

実施日：平成20年8月23日
午前9：00～午前11：00
参加人数：26名（地域住民）
4名（地域機関担当者）



チハイス！

何がいるのかな・・・



この虫の名は・・・

かなんかみつけた



1. さかな



ホトケドジョウ

調査地区①で採捕



絶滅危惧種！

- 形** 体色は肌色地で全体に黒点が散らばる。口ひげは、4対あり、その内1対が鼻孔より上へ角の用に出ている。
- 住** 湧水を水源とする所や、山際を流れる水草の繁茂した水路などで生息が確認出来る。
- 命** 産卵期は3月～6月で、水草などに卵を産みつける。主に、浮遊性から底生性の水生昆虫をたべる。

ドジョウ

調査地区①④で採捕



- 形** 頭は少し丸みがあり、目が飛び出ている。腹びれは変形して吸盤状になっている。
- 住** 河川で一生を過ごすタイプと湖沼で一生を過ごすタイプがある。一般に、砂礫～礫底を好む。
- 命** 産卵期は種によって異なる。多くは石の下に巣を作りその石の裏側に卵を産み付ける。雑食性。

ヨシノボリ

調査地区②で採捕



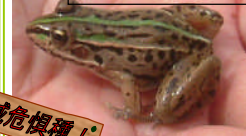
- 形** 黒っぽい線が一本ある。体表は粘液が多くぬるぬるしており、ウロコが目立たない。
- 住** 主に河川の上流から中流域にかけて住む。岸近くに住む。砂泥底または砂礫底。
- 命** 産卵期は4月～6月、卵は1週間で孵化し浮上した仔魚は淵尻の淀みの表層で群れている。

2. カエル



トノサマガエル

調査地区④で採捕



絶滅危惧種！

- 形** 背中中央に緑色、黄色または白色のラインがある。その両側には不規則に融合した黒い斑紋がある。
- 住** 水田や小川、草むらに生息する。繁殖以外は、かなり水辺から離れる事がある。
- 命** 繁殖期は4月～6月で主に水田で産卵する。その年の夏には上陸し、3年目の繁殖期から繁殖に参加する。

ツチガエル

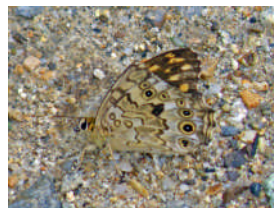
調査地区④で採捕



- 形** 体背面は暗褐色で黒い斑紋が散在し、大小多数のイボ状隆起がある。腹面も黒斑がある。
- 住** 平地から底山地に生息し、流れのゆるやかな小川や、溝、水田、池沼などに住む。水辺を離れることはない。
- 命** 繁殖期は5月～9月で水草などに産卵する。オタマジャクシのまま越冬し、翌年の5月に上陸する。

※ 絶滅危惧種……近い将来絶滅が危惧されている種の事。環境省や新潟県などでそれぞれリストを作成している。

3. その他



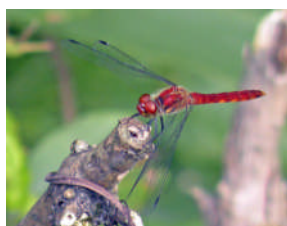
サトキマダラヒカゲ



アカハライモリ



アスラハヤ (さかなに追加)



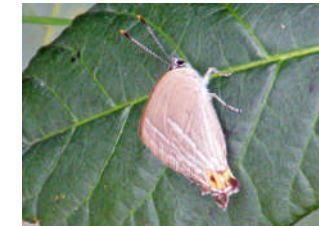
ナツアカネ



クロマメゲンゴロウ



コオイムシ



ジョウザンミドリシジミ

注意！

もし、これから虫取りに行く機会があったら…気をつけてね！

マツモムシに刺されると痛い！！



大きさは、1.2～1.4cm

アマガエルにさわったら、必ず手を洗おう！



大きさは、2.2～4.5cm

ヒルにかまれると、血がとまらない！！



大きさは、3～10cm

発行：新潟県村上地域振興局 農林振興部 農村振興担当 小唄・小田
問い合わせ先：〒958-8585 村上市田端町6-25
TEL 0254-52-7952 / FAX 0254-52-1606